

令和4年9月20日

教員各位

AI・数理データサイエンスセンター長
阿部 匡 伸

令和4年度Society5.0研究支援プログラム研究課題の募集について（通知）

このたび、AI・数理データサイエンスセンターサイバーフィジカル情報応用研究推進部門（以下、「Cypher」という）では、本学教員等が行うSociety5.0の実現に向けた応用研究の強化を支援するため、標記プログラムを実施することとなりましたので、お知らせします。

ついては、下記のとおり研究課題を募集しますので、応募者は申請書等を作成し応募期間内に提出願います。

記

対 象： Society5.0の実現に貢献する技術(AI、IoT、ビッグデータ、数理データサイエンス等)を用いた研究課題で、以下のいずれかの取組とする。

- ① 国際共同研究を見据えた取組
- ② 異分野連携による取組
- ③ 企業や地方自治体等との共同研究を見据えた取組
- ④ 若手研究者（令和4年度末において40歳以下）による取組

応募資格：本学常勤教員（特別契約職員及びテニユア・トラック教員を含む）及び
本学博士・博士後期課程在籍学生

助成件数：6件程度

助成金額：1件あたり50万円以内

応募期間：令和4年9月21日（水）～10月7日（金）

研究期間：採択通知日～令和5年3月31日（金）

※ 物品購入（納品を含む）、旅費・謝金等の実施は3月中に終了させること

助成内容：使用できる経費は、物品購入費、旅費、謝金、雑役務費とする。

なお、研究期間中に使用できなかった研究費は返還すること。

学生の場合は、所属する研究科（指導教員）に配分するので、大学の管理下（指導教員のもと）で適切に使用すること。

申請方法：申請書（別紙1）及び研究概要がわかるポンチ絵（任意様式、A4サイズ1枚）を電子媒体として下記提出先まで提出すること。

選考方法：Cypherにおいて書面審査を行い、センター長が決定する。

選考基準：主に下記を基に総合的に判断し、選考する。

- ・ Society5.0の形成に資する研究課題となっているか
- ・ 独創性を有する研究課題となっているか
- ・ 競争的資金や共同研究費等の外部資金獲得が期待できるか

選考結果：令和4年10月中旬に採択者へ通知する。

その他：研究終了後1ヶ月以内に、報告書（別紙2）を提出すること。

採択課題を基にしたテーマで、来年度以降の外部資金の獲得にチャレンジすること。

科研費等他の公募事業との重複申請を可とする。他の公募事業との重複申請になる場合はその旨明記すること。

Cypherの依頼があった場合、研究会・シンポジウムにて研究内容について発表するなど、Cypherの事業に参画すること。

問合せ及び申請書提出先：

研究協力部研究協力課 E-mail:kikou@adm.okayama-u.ac.jp

以上

令和4年度Society5.0研究支援プログラム申請書

AI・数理データサイエンスセンター長 殿

研究者氏名・所属・職名：

E-mail：

(学生の場合) 指導教員氏名・所属・職名：

E-mail：

区 分	対象①～④の該当する番号を記入 (複数可)					
研究題目						
研究概要	研究目的、手法、期待される成果を明らかにして500字程度で書くこと。					
研究計画	研究期間内に実施する内容を具体的に書くこと。また、来年度以降の発展性を書くこと。					
本研究課題に関連する内容で受給中または申請中の競争的資金	最も関連のあるものを最大1件					
今後獲得が見込める外部資金						
経 費 内 訳	物品購入費	金額	旅費	金額	その他	金額
	計		計		計	
合計					千円	

※1ページに収めること。提出の際は赤字を削除。

研究概要がわかるポンチ絵 (任意様式、A4サイズ1枚) を添付すること。

令和4年度Society5.0研究支援プログラム報告書

AI・数理データサイエンスセンター長 殿

研究者氏名・所属・職名：

E-mail：

(学生の場合) 指導教員氏名・所属・職名：

E-mail：

区 分	対象①～④の該当する番号を記入 (複数可)					
研究題目						
研究成果の概要 研究費執行結果との関係を明らかにして500字程度で書くこと。						
今後の研究計画 申請予定の外部資金を踏まえて書くこと。						
経 費 内 訳	物品購入費	金額	旅費	金額	その他	金額
	計		計		計	
合計					千円	

※提出の際は赤字を削除。